



電気自動車普及協議会

APEV

Association for the Promotion of Electric Vehicles

【Press Release】

2013年7月10日

電気自動車普及協議会

会長 福武 総一郎

代表幹事 田嶋 伸博

<報道機関各位>

「EV超小型モビリティデザインコンテスト」の一次審査結果発表

電気自動車普及協議会(APEV)では、次世代を担う学生を対象に、昨今様々な分野から注目を集めている「超小型モビリティ(EV)」やそれを取り巻く環境デザインを提案していただくというコンテストを実施しています。

このたび、参加チームから課題が提出され、一次審査を行いましたのでその結果をご報告します。

一次審査を通過して最終審査に進むのは、全体で19校27チーム、その内訳は日本国内16校24チーム、海外3ヶ国からは3校3チームでした。

一次審査では「良い所を見つけてなるべく最終審査に進んでもらいたい」という姿勢で審査をした結果、多様な作品が残りました。すぐには実現しない案でも、将来の日本あるいは世界のモビリティの姿を考える上でのヒントとして世間に訴えることが出来るのではないかと考えています。また、本コンテストの特徴である、SNSの交流によって相互にデザインの質が向上している面白い例も見られました。

最終審査ではSNSの利用に加え、CADを用いて実際に3次元デザインを行っていきます。

国内外の若い学生達がどのような交流をし、実際にどのような3次元デザインを作っていくのかを引き続きお楽しみにお待ちください。 通過チームの詳細は次頁のリストをご参照ください。

『EV超小型モビリティ デザインコンテスト』とは

・超小型モビリティの3次元デザイン*注)案を募集、審査、発表する。

*注: 国交省の定める超小型モビリティ規格に適合した電気自動車(EV)の上屋(うわや)のデザイン

・単なる車のデザインだけではなく、

社会・街・地域の人々・文化等との関わりも含めた環境デザインを募集。

・「18歳以上の学生・原則2名以上」の**チームで応募**～ 個のネットワークと融合を促しアイデアを皆で広げ育てる環境を用意する。

・一般的なコンペと違い製作活動の進捗を**SNSを活用して共有**～ 製作プロセスも評価対象とする。

・最終審査においては、3次元デザインツールを提供する。

・2014年以降も当コンテストを継続開催し、**デザイン→設計→実車製作まで**を視野に入れる。

今後の日程

- | | |
|----------------------------------------------|--------------------|
| ★一次審査結果発表 | ・・・2013年7月10日(水)今回 |
| ★最終審査作品締め切り | ・・・2013年9月27日(金) |
| ★最終結果発表 | ・・・2013年10月11日(金) |
| ★東京モーターショーSMART MOBILITY CITY 2013でカンファレンス | ・・・2013年11月末(予定) |
| ★APEV主催の「超小型モビリティ普及促進&学生デザインコンテスト結果報告」シンポジウム | ・・・2014年3月初旬(予定) |

※日程は変更の可能性があります。

1次審査通過チーム一覧 * 2013年7月10日現在 (50音順、海外はアルファベット順)

	学校名	チーム名	(学校英名)	国
1	麻生建築&デザイン専門学校	Transcendence	Aso Architecture and Design College	Japan
2	麻生建築&デザイン専門学校	CORRESPONDENCE	Aso Architecture and Design College	Japan
3	麻生建築&デザイン専門学校	Posse	Aso Architecture and Design College	Japan
4	阿南工業高等専門学校	コトネ	Anan National College of Technology	Japan
5	阿南工業高等専門学校	豊丸	Anan National College of Technology	Japan
6	大阪産業大学	OSUEVB	Osaka Sangyo University	Japan
7	大阪産業大学	OSUEVA	Osaka Sangyo University	Japan
8	岡山大学	KTN ²	Okayama University	Japan
9	岡山大学	ブラックゴールズ	Okayama University	Japan
10	神奈川工科大学	Shift!	Kanagawa Institute of Technology	Japan
11	九州産業大学	KSU-M1project	Kyushu Sangyo University	Japan
12	九州大学	KID	Kyushu University	Japan
13	慶應義塾大学	K-EV	Keio University	Japan
14	公立はこだて未来大学	みらいう ^ぐ	Future University-Hakodate	Japan
15	公立はこだて未来大学	Fun+Tech	Future University-Hakodate	Japan
16	札幌市立大学	team-SCU	Sapporo City University	Japan
17	首都大学東京	VOLTAGE	Tokyo Metropolitan University	Japan
18	千葉工業大学	5 bit byte	Chiba Institute of Technology	Japan
19	千葉工業大学	SATORACING	Chiba Institute of Technology	Japan
20	千葉大学	PDL	Chiba University	Japan
21	天王寺学館高等学校	TgMg	Tennoji Gakkan High School	Japan
22	名古屋市立大学	THOTHS	Nagoya City University	Japan
23	名古屋市立大学	Mobilitus	Nagoya City University	Japan
24	立命館大学	ぬ	Ritsumeikan University	Japan
25	ケンブリッジ大学	TFM group	University of Cambridge	UK
26	モラトゥワ大学	TeamMora	University of Moratuwa	Sri Lanka
27	ストラット大学	RACINE	Strate College	France
	合計 19 校	27チーム		4カ国

審査委員長



奥山 清行 様

工業デザイナー, KEN OKUYAMA DESIGN 代表

審査委員



安藤 忠雄 様

建築家・
東京大学名誉教授



織作 峰子 様

写真家・
大阪芸術大学写真学科教授



河口 洋一郎 様

東京大学大学院
情報学環・学際情報
学府教授



藤本 彰 様

カースタイリング出版・代表



田嶋 伸博

電気自動車普及協議会 代表幹事

* アイウエオ順

賞品

【賞品】 ユニークな賞品

優秀作品となったチームに対して、
「電気自動車(EV)に関する特別な体験」を提供

- 例) ・著名なデザイナーとの交流機会
- ・海外の環境エネルギー関連展示会への招待&発表機会
- ・海外EV企業・団体訪問及び交流 等

組織

主催: 電気自動車普及協議会

後援: 経済産業省、国土交通省、東京大学大学院情報学環、ダッソー・システムズ

- ・ 全体統括の事務局を電気自動車普及協議会に置く。
- ・ 東京大学大学院情報学環:山内研究室は、SNS/CADを使った教育システムの開発と効用の研究、効果検証を行う。
- ・ ダッソー・システムズは、3次元デザインソフト及びSNSプラットフォームを提供する。



協賛

株式会社ストラタシス・ジャパン
株式会社ワコム
日産自動車株式会社
レノボ・ジャパン株式会社

株式会社ベネッセホールディングス
デル株式会社
日本ヒューレット・パッカード株式会社
株式会社アスプロス



NISSAN MOTOR COMPANY



lenovo FOR THOSE WHO DO.

ASPROS INC.

協賛企業の募集について

協賛企業を引き続き募集中です。
(お問い合わせは、contest@apev.jpまで)

お問い合わせ先

電気自動車普及協議会 (APEV) 内
EVデザインコンテスト 事務局長 安嶋 言一郎

〒160-0023 新宿区西新宿6-10-1 日土地西新宿ビル8階
TEL: 050-3736-8325 E-mail: yasujima@apev.jp
Website: <http://www.apev.jp/contest/>

以上